

2026/3期 1Q 決算補足説明資料

2025年7月23日
株式会社オービーシステム

東証スタンダード市場:5576

国内経済及び業界動向

- 中東情勢や米国政策動向による景気下振れの一方、生成AIやクラウドサービス、DX関連投資拡大など、情報サービス業界においては引続き投資需要が底堅く推移する

当社の特徴と1Q実績

- クライアントや取引先Sierの予算執行のタイミングや開発システム工期との兼合いから、例年第1四半期は業績が低く始まり、第2四半期、第4四半期に業績が集中する傾向
- 当第1四半期は主力である銀行分野の大型案件の端境期による受注減少が大きく、保険分野などで事業拡大を図ったものの金融事業で1割強の売上減少
- 他の事業分野については、米国関税政策の影響(マイコン分野)、端境期(自治体向けシステム)など厳しい分野はあるものの、順調に業績を計上
- 全体では第1四半期の社内予算を達成し、第2四半期以降年度目標達成を目指す

中期経営計画に沿った施策を積極的に推進

- 人員増強(新卒採用を拡大継続)
- R&D・業務提携(AIを搭載したパッケージソフト開発・販売開始、大阪大学との協創検討開始)
- M&A(2024年4月のヒューマン&テクノロジー社に続き本年5月にグリーンキャット社を完全子会社化)

- 前年同期比減収減益であるものの、第2四半期以降の業績積み上げを見込んだ社内計画通りに進捗

(百万円)	2025/3期		2026/3期				
	1Q	通期	1Q実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	1,826	7,684	1,753	△72	△4.0%	9,400	18.7%
売上総利益	352	1,448	318	△33	△9.6%	1,825	17.4%
粗利益率	19.3%	18.9%	18.2%	△1.1pp	－	19.4%	－
販管費	279	886	279	△0	△0.1%	1,105	25.3%
営業利益	72	562	39	△33	△46.1%	720	5.4%
営業利益率	4.0%	7.3%	2.2%	△1.7Pp	－	7.7%	－
経常利益	82	611	51	△31	△38.1%	767	6.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	92	485	66	△26	△28.3%	590	11.2%
EPS	40.1円	210.6円	28.7円	△11.4円	△28.4%	254.3円	11.3%

※グリーンキャット社のM&Aによる株式取得は5月、同社は12月決算となるため、第2四半期以降に8か月分の業績が反映される

2027/3期 連結売上100億円、営業利益10%を目指し中期経営計画を推進中。

中期経営計画成長戦略



既存事業の拡大



新事業の創出・拡大

成長アクション ①

取引先の拡大・システム開発力／
人材の一層の強化

計画的な新卒社員の確保による
体制拡大推進

- ・ 2024年4月:52名
- ・ 2025年4月:49名

M&Aによる事業体制強化

- ・ ヒューマン＆テクノロジー社約40名
- ・ グリーンキャット社約90名
(2025年5月1日～)

成長アクション ②

R&D・業務提携拡大による
事業拡大の加速



自社医療パッケージ「CLIP」への生成AI適用
により音声によるシステム操作をサポート

[AI機能搭載CLIP4月1日より販売](#)



大阪大学との共創検討を開始

成長アクション ③

資本業務提携(M&A)
拡大による事業拡大の推進

株式会社グリーンキャットとの
資本業務提携

1984年8月設立のBIPROGYを始めとした
大手上場企業を中心に、金融系に強みを持つ
SI、ソフト開発会社

- ・ 2025年3月24日に(株)グリーンキャット社
との資本業務提携契約に合意
- ・ 2025年5月1日にクロージング

- 中期経営計画に沿って、積極的な資本業務提携で連結経営に移行するなど、着実に業績を伸長する計画
- 旺盛なシステム投資案件の継続、中期経営計画施策の着実な実行により、前期比で約22%の増収計画
- 外注単価、人件費などのコスト上昇を想定。特に将来のための新卒採用人員を大幅増員し、教育・研修費用の増加もありコスト先行となるものの、大幅な増収の効果により、前期比28%の営業増益を見込む

	2025/3期 (実績)	2026/3期 (業績見通し)	増加額	増加率
(百万円)				
売上高	7,684	9,400	+1,715	+22.3%
営業利益	562	720	+157	+28.0%
経常利益	611	767	+155	+25.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	485	590	+104	+21.6%
EPS(円)	210.6	254.3	+43.7	+20.7%

配当金での株主還元が柱

- 2026年3月期は20円増配し年間100円と上場以降3期連続増配を計画。配当性向は、39.3%へ上昇
- 早期に配当性向40%以上へ引上げ、業績や財務状況、投資計画の状況を考慮し、更に利益を還元していく方針

	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期(予想)		
				年間	中間	期末
一株当たり配当額	50円	70円 (30円)	80円 (40円)	100円	50円	50円
うち、記念配	—	10円 (5円)	—	—	—	—
EPS*1	239.5円	193.0円	210.6円	254.3円	—	—
配当性向	20.9%	36.3%	38.0%	39.3%	—	—

※2024/3期、2025/3期の下段括弧は中間配当金額を内書き

- 第1四半期は例年低めのスタートとなるが、社内予算は達成し第2四半期以降の収益伸長を狙う
- 定昇・バア、社会保険料など人件費の増加の影響が第1四半期は大きく響いたが、昨年からの人員増強の効果を見込む
- 政策投資株式の縮減方針に沿った投資有価証券売却も継続的に行い、当期利益を底上げしていく計画

(百万円)	2025/3期		2026/3期				
	1Q	通期	1Q実績	前年同期差	前年同期比	通期見通し	進捗率
売上高	1,759	7,418	1,691	△67	△3.8%	8,030	21.1%
金融	744	3,052	650	△94	△12.7%	3,258	20.0%
産業流通	456	2,042	476	+20	+4.4%	2,271	21.0%
社会公共	415	1,722	415	△0	△0.0%	1,843	22.5%
ITイノベーション	142	601	149	+7	+5.0%	656	22.8%
売上総利益	332	1,374	298	△33	△10.2%	1,525	19.6%
粗利益率	18.9%	18.5%	17.6%	△1.2pp	—	19.0%	—
販管費	235	749	263	+28	+11.9%	825	31.9%
営業利益	96	625	34	△62	△64.0%	700	5.0%
営業利益率	5.5%	8.4%	2.1%	△3.4Pp	—	8.7%	—
経常利益	106	673	47	△59	△55.6%	750	6.3%
当期純利益	117	555	66	△51	△43.5%	611	10.9%

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先	株式会社オービーシステム 東京本社IR担当 TEL:03-3471-9877(代表) E-mail:ir@obs.co.jp
---------	--